



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 松田産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7456 URL <http://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR部長 (氏名) 木下 敦視

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

平成29年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	94,282	19.3	2,203	77.0	2,422	69.7	1,641	69.4
29年3月期第2四半期	79,012	7.4	1,245	39.2	1,427	39.4	969	38.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,590百万円 (1,979.3%) 29年3月期第2四半期 76百万円 (95.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	62.34	
29年3月期第2四半期	36.80	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	77,208	54,640	70.7
29年3月期	72,715	53,419	73.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 54,598百万円 29年3月期 53,390百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		14.00		14.00	28.00
30年3月期		14.00			
30年3月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	16.5	4,000	35.1	4,400	27.2	2,980	21.4	113.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	28,908,581 株	29年3月期	28,908,581 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	2,575,267 株	29年3月期	2,575,021 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	26,333,427 株	29年3月期2Q	26,333,769 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復基調が続きましたが、個人消費は一部に持ち直しの動きが見られたものの、実質賃金の伸び悩みなどもあり依然として力強さを欠く状況で推移しました。また、先行きについては、国内の労働力不足や海外経済の不確実性など不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループの貴金属関連事業においては、国内外の生産拠点活用と営業展開の強化を進め、貴金属原料の確保、化成品等の製品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に取り組んでおります。また、食品関連事業においては、顧客ニーズを捉えた商品の開拓と提供に鋭意取り組み、国内はもとより、海外展開の拡大も含めた積極的な営業活動を推進し、販売量の拡大に努めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高94,282百万円（前年同四半期比19.3%増）、営業利益2,203百万円（前年同四半期比77.0%増）、経常利益2,422百万円（前年同四半期比69.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,641百万円（前年同四半期比69.4%増）となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### 貴金属関連事業

当事業の主力顧客であるエレクトロニクス業界は、半導体・電子デバイス分野を中心に生産状況は好調に推移しました。このような状況の中で当社グループの貴金属関連事業では、貴金属リサイクル及び産業廃棄物処理の取扱量が増加し、銀製品の販売量は減少したものの、金製品及び電子材料等の販売量は増加し、白金を除く貴金属販売価格の上昇もあり、全体としての売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は60,180百万円（前年同四半期比19.4%増）、営業利益は1,390百万円（前年同四半期比74.6%増）となりました。

#### 食品関連事業

当事業の主力顧客である食品製造業界は、国内の個人消費に力強さを欠く中で輸出好調にも支えられ、生産状況は概ね堅調に推移しました。このような状況の中で当社グループの食品関連事業では、すりみの販売単価が下落し、農産品の販売数量は減少しましたが、水産品及び畜産品の販売数量は増加し、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は34,131百万円（前年同四半期比19.2%増）、営業利益は813百万円（前年同四半期比81.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,492百万円増加し、77,208百万円となりました。これは主として現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加によるものです。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,271百万円増加し、22,568百万円となりました。これは主として借入金、未払法人税等の増加によるものです。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1,221百万円増加し、54,640百万円となりました。これは主として期末配当金の支払いを上回る利益剰余金の増加によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,069百万円増加し7,853百万円となりました。

（営業活動のキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により増加した資金は7百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益、減価償却費、たな卸資産の減少及び配当金の受取による資金の増加と、売上債権の増加及び法人税等の支払いによる資金の減少の差引によるものです。なお、前年同四半期の1,091百万円の資金の増加に比べ1,083百万円減少しました。

（投資活動のキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は1,076百万円となりました。これは主として工場用土地及び設備等の有形固定資産取得によるものです。なお、前年同四半期の1,289万円の支出に比べ213百万円の支出減少となりました。

（財務活動のキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により増加した資金は2,131百万円となりました。これは主に期末配当金の支払いを上回る借入金の増加によるものです。なお、前年同四半期の1,001百万円の資金の減少に比べ3,133百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第2四半期（累計）連結業績を踏まえて、平成29年5月12日公表の予想値を変更しております。当該予想の詳細につきましては、平成29年11月9日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,784	7,853
受取手形及び売掛金	19,954	23,208
商品及び製品	14,226	13,430
仕掛品	404	413
原材料及び貯蔵品	6,311	6,645
繰延税金資産	449	540
その他	2,698	2,880
貸倒引当金	△9	△7
流動資産合計	50,820	54,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,835	9,014
減価償却累計額	△4,597	△4,754
建物及び構築物(純額)	4,237	4,259
機械装置及び運搬具	8,254	8,337
減価償却累計額	△6,092	△6,423
機械装置及び運搬具(純額)	2,161	1,913
土地	7,791	8,455
リース資産	644	701
減価償却累計額	△197	△233
リース資産(純額)	446	468
建設仮勘定	42	44
その他	1,083	1,140
減価償却累計額	△903	△922
その他(純額)	180	217
有形固定資産合計	14,859	15,359
無形固定資産		
その他	895	822
無形固定資産合計	895	822
投資その他の資産		
投資有価証券	4,470	4,533
繰延税金資産	3	3
その他	1,733	1,591
貸倒引当金	△68	△65
投資その他の資産合計	6,139	6,063
固定資産合計	21,894	22,244
資産合計	72,715	77,208

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,223	8,197
短期借入金	1,993	5,136
1年内返済予定の長期借入金	994	823
リース債務	127	172
未払法人税等	572	875
繰延税金負債	-	0
賞与引当金	744	878
その他	3,184	3,294
流動負債合計	15,840	19,377
固定負債		
長期借入金	1,598	1,200
リース債務	318	409
繰延税金負債	636	648
役員退職慰労引当金	565	584
執行役員退職慰労引当金	16	20
退職給付に係る負債	228	234
その他	92	92
固定負債合計	3,456	3,190
負債合計	19,296	22,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	47,515	48,789
自己株式	△3,009	△3,009
株主資本合計	52,074	53,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	627	637
繰延ヘッジ損益	△30	△79
為替換算調整勘定	810	776
退職給付に係る調整累計額	△91	△82
その他の包括利益累計額合計	1,315	1,250
非支配株主持分	29	41
純資産合計	53,419	54,640
負債純資産合計	72,715	77,208

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	79,012	94,282
売上原価	71,436	85,410
売上総利益	7,576	8,871
販売費及び一般管理費	6,331	6,668
営業利益	1,245	2,203
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	14	15
投資有価証券売却益	3	-
持分法による投資利益	250	248
仕入割引	6	7
為替差益	55	-
その他	24	22
営業外収益合計	358	298
営業外費用		
支払利息	16	23
為替差損	-	29
投資有価証券評価損	125	17
その他	34	8
営業外費用合計	176	79
経常利益	1,427	2,422
税金等調整前四半期純利益	1,427	2,422
法人税、住民税及び事業税	422	836
法人税等調整額	27	△65
法人税等合計	449	770
四半期純利益	978	1,652
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	969	1,641



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	978	1,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	10
繰延ヘッジ損益	106	△47
為替換算調整勘定	△892	3
退職給付に係る調整額	17	8
持分法適用会社に対する持分相当額	△170	△37
その他の包括利益合計	△901	△62
四半期包括利益	76	1,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70	1,577
非支配株主に係る四半期包括利益	5	12

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,427	2,422
減価償却費	626	685
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	162	134
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	26	19
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△60	19
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	3
受取利息及び受取配当金	△18	△19
支払利息	16	23
持分法による投資損益(△は益)	△250	△248
売上債権の増減額(△は増加)	△826	△3,234
たな卸資産の増減額(△は増加)	743	470
仕入債務の増減額(△は減少)	671	△47
その他	△1,188	97
小計	1,333	321
利息及び配当金の受取額	157	171
利息の支払額	△16	△23
法人税等の支払額	△383	△462
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,091	7
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,135	△1,111
有形固定資産の売却による収入	5	-
無形固定資産の取得による支出	△101	△28
投資有価証券の取得による支出	△7	△5
投資有価証券の売却による収入	5	-
その他	△55	69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,289	△1,076
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	8	3,142
長期借入金の返済による支出	△576	△568
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△368	△368
その他	△65	△73
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,001	2,131
現金及び現金同等物に係る換算差額	△394	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,594	1,069
現金及び現金同等物の期首残高	9,524	6,784
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,930	7,853

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,404	28,607	79,012	—	79,012
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	30	30	△30	—
計	50,404	28,638	79,043	△30	79,012
セグメント利益	796	448	1,245	—	1,245

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	60,180	34,101	94,282	—	94,282
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	29	29	△29	—
計	60,180	34,131	94,312	△29	94,282
セグメント利益	1,390	813	2,203	—	2,203

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。